

# カジノ誘致反対市民集会に八〇〇名!

八月二十二日(土)、カジノの是非を問う市民集会が横浜山下公園石の広場において開催されました。主催はカジノの是非を決める横浜市民の会(運営委員長 岡田尚)。この日はカジノを含むIR誘致を林文字横浜市長が正式に表明した日から丁度一年にあたり、集会では社民党、立憲民主党、共産党など立憲野党、浜教組・県私鉄・横浜市従など労働団体、市民団体など八〇〇名が参加しました。

## 住民投票本署名は9/4から

市民の会を代表して岡田尚氏は「米力シノ大手のラスベガス・サンズが日本への進出断念を発表、代わりの事業者もない。(IR)事業を巡って、収賄罪で起訴された秋元司衆院議員が再び東京地検特捜部に逮捕された。この事件は前代未聞で奥が深い。私たちは9月4日から始まる本署名で、どんなことがあってもカジノ誘致を市民が許さない、誘致反対の思いを明確にし成功させよう」と訴えました。

## カジノより

## コロナ対策が重要だ

社民党を代表して党横浜市連合副代表の森ひでおは「私たちは横浜にカジノはイライナイ、日本全国にカジノはイライナイと訴えている。私は看護師をしているが医療現場、介護現場は大変な状況、カジノ誘致どころではない。市民の血税をカジノではなくコロナ対策にもっと活用すべき。カジノ誘致を断念させるのは私たち市民の声だ」と強く訴え、9月4日から始まる住民投票の本署名運動に拍車を高める集会になりました。



社民党を代表してスピーチする森ひでお横浜市連合副代表



集会には立憲民主党から阿部知子衆院議員、日本共産党から畑野 君枝衆院議員も参加し、激励のスピーチを述べました

コールでカジノ誘致反対を訴える参加者